

－医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読み下さい。－

# 使用上の注意改訂のお知らせ

2026年3月

製造販売元：

**ヴィーブヘルスケア株式会社**

プロモーション提携：

**塩野義製薬株式会社**

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊社医薬品につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、**ジアルカ配合錠** の【使用上の注意】を改訂致しましたのでお知らせ申し上げます。

謹白

抗ウイルス化学療法剤

**ジアルカ**配合錠

(一般名：ドルテグラビルナトリウム・リルピビリン塩酸塩)

# 1. 改訂の概要（厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知（令和8年3月17日付）に基づく改訂）

ジャルカ配合錠の「2. 禁忌」の項及び「10.1 併用禁忌」の項にアパルタミド及びエンザルタミドを追記しました。

## 2. 改訂内容及び改訂理由

### 【改訂内容】

改訂前			改訂後（下線部：追記、取消し線：削除箇所）																											
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 （省略）</p> <p>2.2 リファンピシン、カルバマゼピン、フェニトイン、ホスフェニトインナトリウム水和物、フェノバルビタール、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、デキサメタゾン（全身投与）（単回投与を除く）、プロトンポンプ阻害剤（オメプラゾール、ランソプラゾール、ラベプラゾールナトリウム、エソメプラゾールマグネシウム水和物、ボノプラザンフマル酸塩）を投与中の患者 [10.1 参照]</p>			<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>2.1 （省略）</p> <p>2.2 リファンピシン、カルバマゼピン、フェニトイン、ホスフェニトインナトリウム水和物、フェノバルビタール、セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品、<u>アパルタミド、エンザルタミド</u>、<u>デキサメタゾン</u>（全身投与）（単回投与を除く）、プロトンポンプ阻害剤（オメプラゾール、ランソプラゾール、ラベプラゾールナトリウム、エソメプラゾールマグネシウム水和物、ボノプラザンフマル酸塩）を投与中の患者 [10.1 参照]</p>																											
<p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(省略)</td> </tr> <tr> <td>デキサメタゾン（全身投与）（単回投与を除く） デカドロン等 [2.2 参照]</td> <td>リルピビリンの血中濃度が低下し、本剤の効果が減弱するおそれがある。</td> <td>デキサメタゾンの CYP3A 誘導作用により、リルピビリンの代謝が促進される。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(省略)</td> <td style="text-align: center;">(省略)</td> <td style="text-align: center;">(省略)</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	(省略)			デキサメタゾン（全身投与）（単回投与を除く） デカドロン等 [2.2 参照]	リルピビリンの血中濃度が低下し、本剤の効果が減弱するおそれがある。	デキサメタゾンの CYP3A 誘導作用により、リルピビリンの代謝が促進される。	(省略)	(省略)	(省略)	<p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">(省略)</td> </tr> <tr> <td><u>アパルタミド</u> <u>アーリーダ</u> <u>エンザルタミド</u> <u>イクスタンジ</u> [2.2 参照]</td> <td rowspan="2">リルピビリンの血中濃度が低下し、本剤の効果が減弱するおそれがある。</td> <td rowspan="2">デキサメタゾン<u>これらの薬剤</u>の CYP3A 誘導作用により、リルピビリンの代謝が促進される。</td> </tr> <tr> <td>デキサメタゾン（全身投与）（単回投与を除く） デカドロン等 [2.2 参照]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(省略)</td> <td style="text-align: center;">(省略)</td> <td style="text-align: center;">(省略)</td> </tr> </tbody> </table>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	(省略)			<u>アパルタミド</u> <u>アーリーダ</u> <u>エンザルタミド</u> <u>イクスタンジ</u> [2.2 参照]	リルピビリンの血中濃度が低下し、本剤の効果が減弱するおそれがある。	デキサメタゾン <u>これらの薬剤</u> の CYP3A 誘導作用により、リルピビリンの代謝が促進される。	デキサメタゾン（全身投与）（単回投与を除く） デカドロン等 [2.2 参照]	(省略)	(省略)	(省略)
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																												
(省略)																														
デキサメタゾン（全身投与）（単回投与を除く） デカドロン等 [2.2 参照]	リルピビリンの血中濃度が低下し、本剤の効果が減弱するおそれがある。	デキサメタゾンの CYP3A 誘導作用により、リルピビリンの代謝が促進される。																												
(省略)	(省略)	(省略)																												
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子																												
(省略)																														
<u>アパルタミド</u> <u>アーリーダ</u> <u>エンザルタミド</u> <u>イクスタンジ</u> [2.2 参照]	リルピビリンの血中濃度が低下し、本剤の効果が減弱するおそれがある。	デキサメタゾン <u>これらの薬剤</u> の CYP3A 誘導作用により、リルピビリンの代謝が促進される。																												
デキサメタゾン（全身投与）（単回投与を除く） デカドロン等 [2.2 参照]																														
(省略)	(省略)	(省略)																												

**【改訂理由】**

アパルタミドまたはエンザルタミドの CYP3A 誘導作用により、本剤の成分であるリルピビリンの代謝が促進され、リルピビリンの血中濃度が低下することが考えられます。その結果、本剤の効果が減弱するおそれがあるため、ジャルカ配合錠の電子添文においてアパルタミド及びエンザルタミドを「**2. 禁忌**」及び「**10.1 併用禁忌**」の項に追記し、注意喚起を行うことといたしました。

医薬品電子添文改訂情報は医薬品医療機器総合機構ホームページ「医薬品に関する情報」  
(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>) に改訂指示内容、最新の電子添文並びに医薬品  
安全対策情報(DSU)が掲載されます。あわせてご利用ください。

本剤の最新の電子添文等は、専用アプリ「添文ナビ」より、GS1 バーコードを読み取りの上、ご参照くだ  
さい。



製造販売元：

**ヴィーブヘルスケア株式会社**

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

プロモーション提携：



SHIONOGI

**塩野義製薬株式会社**

大阪府中央区道修町3-1-8

PI-15737-D2603N

JLC-G-2(A1)

作成年月 2026年3月作成